

| 重点分野2 (中目標) | 経済・社会的格差是正に向けた支援 | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|---|--------------------------------|---|----------------------------------|---|---|---|---|---|--|-------------|----|--|
| 開発課題2-1 (小目標) 経済・社会的格差是正に向けた支援 | 【現状と課題】 南アフリカにおいては、高い妊産婦死亡率、HIV/エイズの蔓延や高い結核有病率に伴う経済的損失や社会費用の増大、遺児の増加が社会問題となっている。また、経済格差拡大により享受できる基本的な社会サービスに不平等が生じており、とりわけ経済・社会的格差是正に向けた地方部貧困層や障害者、女性等に対する支援が喫緊の課題である。 | | | | 【開発課題への対応方針】 障害と開発、社会保障制度の改善及びコミュニティ開発に携わる人材育成等を通じ、貧困層、障害者、女性等の経済・社会参加を促進する。 | | | | | | | | |
| | 協力プログラム名 | 協力プログラム概要 | 案件名 | スキーム | 実施期間 | | | | | | 支援額 (億円) | 備考 | |
| | 経済・社会的格差是正プログラム | | 障害者支援、社会保障制度改善、及び、コミュニティ開発を实践するために必要となる州・郡の行政官及び各コミュニティの人材育成を通じ、国内の経済・社会的格差是正に向けた支援を行う。 | 小規模園芸農民組織強化アドバイザー | 個別専門家 | ■ | ■ | | | | | | |
| | | | | 小規模園芸農民組織強化計画（SHEP）に関する課題別研修 | 課題別研修他 | ■ | | | | | | | |
| | | | | 地域水産業の持続的発展に寄与する行政官の実践的能力開発 | 国別研修 | ■ | | | | | | | |
| | | | | 有機農業塾を拠点とした農村作り | 草の根技協 | ■ | ■ | ■ | | | | | |
| | | | | 障害者のエンパワメントと障害主流化促進プロジェクト | 技プロ | ■ | ■ | ■ | ■ | | | | |
| | | | | 障害者支援分野課題別研修 | 課題別研修他 | ■ | | | | | | | |
| | | | | アクセシブルなまちづくりを通じた障害者自立生活センターの能力構築 | 草の根技協 | ■ | ■ | ■ | ■ | | | | |
| | | | | 社会的弱者支援分野の青年海外協力隊/シニア海外ボランティア | JOCV/SV | ■ | ■ | | | | | | |
| 保健分野能力開発プログラム | 我が国のUniversal Health Coverage（UHC）の知見を活用し、南アフリカにおけるUHCの推進にむけた政策及び人材育成に関する支援を行う。 | ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成のための保健財政能力強化 | 個別専門家 | ■ | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|-----------|---|---|-----------|------------------|------------|-------------|------------|------------|------------|--|--|
| 重点分野3 (中目標) | 南部アフリカの開発促進 | | | | | | | | | | | | |
| 開発課題3-1 (小目標) 域内共通課題支援 | 【現状と課題】 南アフリカは、新興経済国への成長を背景に、南部アフリカ地域の貿易促進、地域インフラ整備を推進している。 | | | 【開発課題への対応方針】 同国の高い潜在能力を活用しつつ、他のアフリカ諸国に対する支援に関し我が国と連携して三角協力を行うことで、より多面的かつ効果的な南部アフリカ開発を支援するとともに、同国の援助国への転換を促進する。 | | | | | | | | | |
| | 協力プログラム名 | 協力プログラム概要 | 案件名 | スキーム | 実施期間 | | | 支援額 (億円) | 備考 | | | | |
| | 域内共通課題支援 プログラム | | 南アフリカに蓄積された知見の周辺国への還元、対南アフリカ協力の周辺国展開を行い、当該課題解決に向けた多国間協力を加速化させ、多面的かつ効果的な援助を実施する。TICADイニシアティブに基づき、国際機関、地域共同体(RECs)、同国政府機関との有機的連携を通じたSADC地域全体に裨益する取組を展開していく。 | TICADアドバイザー | 個別専門家(有償) | 2017 年度 以前 | 2018 年度 | 2019 年度 | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度 | | |
| | | | 南部アフリカ地域開発金融機関のためのプロジェクトバリューチェーンの強化 | 課題別研修他 | | | | | | | | | |
| | | | 南部アフリカ観光開発計画アドバイザー | 個別専門家 | | | | | | | | | |
| 南部アフリカ救命士研修 | | | その他 | | | | | | | | | | |

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=青年海外協力隊)、「SV」(=シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「中小企業支援」(=中小企業海外展開支援事業「基礎調査」、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに中小企業連携促進基礎調査)、実線「——」(=実施期間)、破線「- - - -」(=実施予定期間)
※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。